

令和4年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

第2学年

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
国語	<p>○自分の考えをすすんで発表できる児童が多い。しかし、発表する意欲や自信がもてない児童もいる。</p> <p>○コミュニケーションの素地となる自分の考えをもつ、伝える力に差がみられる。</p> <p>○聞く姿勢がとれる児童が多い。一方で、最後まで集中できずに大事なことを聞き落としてしまう児童や、話の内容を正確に捉えることが難しい児童もいる。</p> <p>○身近なことや経験したこと、自分の思いや考えを文章に書き</p>	<p>○相手に伝わるように、話す事柄の順序を考えられるようにする。</p> <p>○コミュニケーション力を育てる。</p> <p>○大事なことを聞き落とさないように集中して話を聞く力を育てる。</p> <p>○経験したことや想像したことなどから書くことを見</p>	<p>○自分の考えを発表する機会がもてるよう、朝の会にスピーチをする場を設定する。</p> <p>○安心して発表に取り組めるよう、「話す・聞く」の学習では、自分の考えをワークシートに書き上げ、読み上げるという活動にする。</p> <p>○特定の児童の発表の場にならないよう、順番に発表したり、小グループで話し合ったりする場を設定する。</p> <p>○まずは1対1で相手の意見をうなずいて最後まで聞く等、肯定的に受け止める指導を行う。また、話し手は言いたいことを中心に話をできるように指導する。</p> <p>○大事なことを聞き取れるよう、一斉指示は、短く、簡潔にする。</p> <p>○聞くことに集中できるよう、聞く姿勢をとるよう声をかける。</p> <p>○文章を書かせるときには、メモ構想、下書き、清書と段階が踏め</p>		

	<p>表すことができる児童が多い。書く文章の長さについては、差が大きい。書くことを見付けることが難しい児童が数名いる。</p> <p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方の理解が十分ではない。</p> <p>○新出漢字を習得しようと、意欲的に漢字練習に取り組む児童が多い。</p> <p>○正しい書き順や字形で漢字を書くことができない児童がいる。</p> <p>○既習漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことについては、課題である。</p> <p>○平仮名及び片仮名は、ほぼ習得できているが、書き順の誤りや字形が整わない児童がいる。</p>	<p>付け、文章に表す力を育てる。</p> <p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解し、文や文章の中で使えるようにする。</p> <p>○漢字の読み書きが確実にでき、文や文章の中で使うことができるようにする。</p> <p>○正しい筆順で文字を書けるようにする。</p> <p>○平仮名及び片仮名を正確に書けるようにする。</p>	<p>るワークシートを作成する。</p> <p>○書いた文章を読み返す習慣が付くよう、推敲し、順序が分かる文章が書けるようにする。</p> <p>○児童が間違いに気づき、意識して直していけるよう、ノート指導を丁寧に行う。</p> <p>○視写や聴写、国語プリントに取り組みさせる。</p> <p>○漢字を定着させるために、家庭学習で漢字練習に取り組みさせる。ドリルやノートの添削を丁寧に行う。小テストやまとめテストを実施し、習得率を確かめ、繰り返し練習に取り組みさせる。</p> <p>○新出漢字の指導では、筆順、字形、とめ、はね、はらいなどの運筆を丁寧に指導する。</p> <p>○ノート指導を丁寧に行う。必要があれば、個別に指導を行う。</p> <p>○意識して、ひらがなやカタカナを書く時間をとり、習得させるようにする。</p>		
算数	<p>○課題に意欲的に取り組める児童が多い。一方で、苦手意識がある課題には、消極的になりがちな児童がいる。</p> <p>○文章問題の意味の把握や、正しく立式することに課題が見られる。</p>	<p>○学習にすすんで取り組む態度を育てる。</p> <p>○文章問題の立式を正確にできるようにする。</p>	<p>○児童が興味をもつことができる導入や、学習活動を取り入れたり、視覚的に分かりやすいものを掲示したりする。</p> <p>○演算決定の理由を問い、立式の仕方を理解させる。問題場面を図へと抽象化し、絵や図で表すことで問題の表す意味を理解させる。</p>		

<p>○2位数の加法や減法の筆算については、ほとんどの児童が筆算の仕方について理解することができていたが、学期末に行ったテストでは、定着度が下がっていた。</p> <p>○長さの学習では、身の回りにあるものの長さに関心を持ち、長さの単位 (cm、mm) の意味と測定の仕方について理解できた。</p> <p>○竹の物差しを使った測定や直線のひき方については、習熟度に差が見られた。</p> <p>○3けたの数の学習は、1年生での学習を生かして、数のまとまりや仕組みに着目し、数の数え方や表し方、比べ方を考える児童が多かった。</p> <p>○3位数の位取りの仕組みや数の構成、数の相対的な大きさを捉えることについては、理解が十分でない児童がいる。</p> <p>○水のかさの学習では、長さの学習を生かして、身の回りに入る入れ物に入る水の体積に関心をもって活動に取り組むことができた。</p> <p>○体積の単位 (L、dL、mL) の意味や $1L = 10dL$、$1L = 1000mL$ の関係の理解、習得が十分ではない児童がいる。</p>	<p>○筆算の仕方を理解し、計算が確実にできるようにする。</p> <p>○長さの単位を用いて的確に表現する力を養う。</p> <p>○数のまとまりや仕組みに着目し、数の数え方や表し方、比べ方を考える力を高める。</p> <p>○体積の単位を用いて的確に表現する力を養う。</p>	<p>○定期的に、練習問題に取り組みせる機会を設定する。</p> <p>○身の回りにあるものの長さに関心を持ち、数学的に表現・処理したことを振り返る機会を設ける。数理的な処理のよさに気付かせ、生活に活用していく。</p> <p>○具体物を数える活動だけでなく、数カードを使った操作を通して理解させ、十進位取り記数法の理解を深める。</p> <p>○数カードやプリントなどを活用し、3位数の構成の理解を深める練習を短時間で、何度も繰り返す行う。</p> <p>○体積について量の感覚が身に付くよう、いろいろな容器に入る体積を測定する操作活動を取り入れる。</p> <p>○体積の単位の関係が理解できるよう、プリントを活用し、繰り返し演習問題に取り組みせる。</p>		
---	--	---	--	--

	<p>○時計の読みや、時刻と時間の関係の理解については、まだ不十分な児童がいる。</p> <p>○単位を変換する問題を苦手とする児童が数名いる。</p>	<p>○時刻や時間の単位やそれらの関係を理解し、時刻と時間を求める力を育てる。</p> <p>○単位の関係を正しく理解し、単位の変換をできるようになる。</p>	<p>○プリントを活用し、既習事項の内容の定着を図るとともに、時計の文字盤や時刻を数直線上に表したものを示し、具体的な目盛りを数える活動を行う。</p> <p>○算数の時間だけでなく、生活の中で時刻や時間を意識した生活を送り、慣れ親しませていく。</p> <p>○単位を変換する問題を多く取り入れる。</p>		
<p>生活</p>	<p>○これまでの経験を基に知っていることを意欲的に紹介できる児童が多い。</p> <p>○これまでの知見で知っていることも、実際に体験してみると知らなかったことや、新しく気づく喜びを得られる児童がみられる。</p> <p>○1年生との学校探検、野菜の栽培活動等に意欲的に取り組むことができる。</p> <p>○自分の育てている野菜に愛着をもち、水やりや収穫などの世話をしている。</p>	<p>○見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶ等の活動の楽しさを味わうことやそのための技術、能力を育てる。</p> <p>○生活科の学習全般において自分で実際に体験してみ、気付いた経験、また気づきをもとに思考を深める経験をさせ、その経験を様々な表現方法で表現できる。</p> <p>○探検や観察などの活動を通して、多くのことに気付けるようにする。また、気づきの質を高める。</p> <p>○生き物への親しむ気持ちを育てる。</p>	<p>○一人の気づきが他の子供の発言により、深まったり広がったりしていき、新たな気づきを生み出していけるよう、伝え合う機会を設ける。</p> <p>○自分の考えを表現できる方法を具体的に提示し、自分自身でできた経験を積み重ねる。</p> <p>○自分の考えを表現できる方法を具体的に提示し、自分自身でできた経験を積み重ねる。</p> <p>○生き物に詳しい児童に話をしてもらったり、図鑑で調べたりする機会を設定し、少しずつ生き物へ</p>		

	<p>○生き物に苦手意識がある児童もいて、継続して世話を行える児童が限られていた。</p> <p>○植物や生き物の観察では、細かいところまで描写したり、気付いたことを言葉や絵で表現したりすることができる児童が多い。</p> <p>○友達と自分の世話の仕方を比べ、自分の野菜に適した世話の仕方を考えることができた児童は少ない。</p> <p>○自分たちの住む地域には、様々な場所があることに気付いている児童が多い。</p> <p>○地域の様々な場所には興味・関心を示しているが、様々な人がいることにも気付いている児童は多くない。</p>	<p>○観察の視点を理解し、多様な物の見方や捉え方を生かして表現する力を育てる。</p> <p>○体験活動を通して、自分と身近な公共施設を中心として、自分の住んでいる町の興味・関心を広げる。</p>	<p>の親しみが増すようにする。</p> <p>○観察の視点を明確に示す。</p> <p>○タブレットを活用し、野菜の変化や生長の様子を繰り返し確認できるようにする。</p> <p>○意図して児童に出会わせたい人や関わらせたい場所などは、写真や資料を用意しておく。</p> <p>○学校を中心とした絵地図を活用し、児童の発言を整理していく。</p> <p>○日頃から、地域での関わりを話題にするよう意識する。</p>		
<p>体育</p>	<p>○決まりをまもって、すすんで運動しようとする意欲が見られる。</p> <p>○ほとんどの児童が集団行動をとれるが、数名、個別の支援、補助を必要とする児童がいる。</p> <p>○よりよく運動するために、めあてをもって活動することはまだ十分ではない。</p>	<p>○友達と仲良く、協力して運動する態度を育てる。</p> <p>○学習のめあてをもち、そのめあてを達成するための工夫を考えることができるようにする。</p>	<p>○感染症対策を講じながら、決まりを守ること、友達と協力して運動を楽しめる活動内容を考える。</p> <p>○体育講師と連携し、個々の能力に応じた指導を可能な限り行う。</p> <p>○学習カードを活用し、めあてを明確にもって活動し、振り返りも行う。</p>		

<p>○勝敗のある活動については、結果を素直に受け入れることが難しい児童がいる。</p> <p>○これまでの経験の違いから、短縄跳び、マット、跳び箱等の技能面での差が大きい。</p>	<p>○順番や決まりを守り、協力して仲よく運動したり、勝敗を競ったりするなどの態度を育てる。</p> <p>○楽しく体を動かしながら、基本的な動きを身に付け、体力を養う。</p>	<p>○ルールを明確にし、全員が理解しやすいものにする。</p> <p>○正しい態度を伝えていく。</p> <p>○多種多様な運動を取り入れ、筋力・柔軟性・瞬発力・持久力等、様々な力をバランスよく身に付けられるようにする。</p>		
---	---	---	--	--